

日本共産党 札幌市議会議員

吉岡ひろ子 だより



発行元：吉岡ひろ子市政事務所
(2022年4月発行)

札幌市清田区北野5条3丁目1-4

サンパールビル1階

電話011-807-8171

FAX 011-807-8172

(10時~16時)

<https://www.yoshioka-hiroko.com>



市民合意のない 学校統廃合は見直しを

新型コロナウイルス感染症対策や、ゆきとどいた教育のため、少人数学級の重要性はますます高まっています。国は段階的に35人学級にする方針で、今年は小学校3年生まで予算が付けられています。

その一方で児童減少を理由に、学校統廃合・学校再編で学校を減らしていく政策が続けられています。

札幌市では小学校で12学級未満、中学校で6学級未満になると「学校規模適正化」の対象校になり統廃合が検討されま



バリアフリー基本構想

吉岡市議は、3月2日の総務委員会で、「札幌市バリアフリー基本構想」の改定案について質問。バリアフリー化の重点整備地区は、「八軒地区」「路面電車電停地区」が追加され市内55カ所になります。(現在、清田区は地域交流拠点清田の1か所です。)

吉岡市議は、当事者た。の声を生かした市有建築物のバリアフリー化などについて質問し、障がいのある方が、外出をためらうことのない札幌市にするためにも、バリアフリー事業の加速化が求められる。市民みんなが安心して住める街になる基本構想になると良いと思いますと述べました。

また、全市的に小中一貫校(義務教育学校)に再編する計画もあり、現在、南区で計画が進行中で1000人近くの大規模校になる恐れがあります。

清田区では

美しが丘小学校と美しが丘緑小学校の統合については、21年度は検討が先送りされましたが、依然として清田、平岡、美しが丘、美しが丘緑が学校規模適正化の対象校となっています。

日本共産党市議団は、市民の合意や納得なしに学校統廃合・再編を進めてはならないという立場で、これまでの市の

方針や検討内容について検証と見直しが必要だと論戦を続けています。市議団の学校統廃合についての見解をまとめた市政だより号外を発行しました。ぜひ一度ご覧ください。市議団のホームページにも掲載しています。



市議団HP
QRコード

清田区民アンケート

昨年行われた、地域交流拠点清田の機能向上に向けた清田区民アンケートの調査結果が市のホームページで公開されています。アンケート配布数1500通のうち、877通の回答がありました。

回答者が自由に記入できる「区役所周辺の拠点づくり」の質問には、地下鉄延伸、バス路線の充実、警察署の設置など長年の要望に加え、子どもの遊び場や、図書館の充実、文化芸術、スポーツの交流広場など。大手チェーン店だけでなく個人商店が並ぶような清田らしいまちという意見もありました。

災害級の豪雪 除排雪の抜本的見直しを

この冬は豪雪に除排雪が追いつかず、2月22日の記録的な大雪では、清田区内のバス路線はほぼ全面運休となりました。地下鉄がない清田区は陸の孤島のような状態になり、通勤通学、買い物、病院通いなど暮らしに大きな影響が出ました。

この為、幹線道路やバス路線の除排雪に集中せざるをえず、今季市内で、「約1300団体から」申請があったパートナースリップ排雪は中断、当初予定より、ひと月遅れでようやく実施された地域もありました。

ゴミ収集作業も混乱

ゴミステーションに収集車が近づけないため、離れた場所に車を置き、家庭ゴミをビニールシートに乗せて車まで運ぶ。作業は深夜に及びました。



今冬10区、20地域で実施した実証実験は、2月上旬に、実証半ばで通常除雪にもどされました。大雪の除排雪対策として現実的ではない事が証明されたのではないのでしょうか。

除排雪の緊急要望

日本共産党市議団は秋元市長に対し、除排雪予算の増額を毎年要望しています。加えて今年1月21日に、「除排雪の強化に関する緊急要望」を行いました。

- ・緊急搬送や高齢者、障がい者など交通弱者世帯の実態調査と対策。
- ・生活道路とバスレーンの除排雪、通学路交差点の雪山排雪。
- ・国や道と連携し除排雪要員、ダンプの確保など除排雪体制の強化
- ・雪害に対応した十分な除排雪予算を国に要請する事など。

事務所の生活相談増

21年度の吉岡ひろ子市政事務所における相談は85件で、うち法律相談は16件と昨年の4件から、大幅に増えています。

高齢化に伴う相続・財産債務整理などの相談が2倍に増えています。

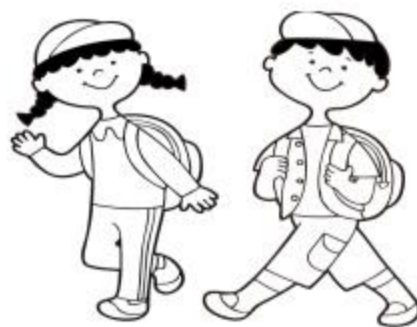
新型コロナウイルス臨時給付金の問い合わせから、家賃減免への手続きに繋がりました。

生活保護を受けている方が新たな制度利用（特別生活資金）に繋がったケースもありました。

地域要望の声も多く寄せられています。真栄地域の市有地、急斜面ごみ対策の相談には、市役所の関係部

署と連携し、必要に応じてパトロールや、看板設置などの対策をとる事になりました。

安全・安心な
地域づくりのために
みなさんの声をぜひ
お寄せください



2021年度相談の内訳

生活保護	生活保護など社会保障制度の運用	債務・相続・財産	道路・除雪など地域の要望	介護・病気・障がい
4	5	13	13	3
業者・近隣トラブル	国・市の制度政策	新型コロナウイルス関連	臨時給付金について	その他
10	5	7	7	18

ひろ子コラム

新型コロナウイルス感染拡大、大雪の被害と、今年の冬はさんざんでしたが、清田区のみなさん、お元気でしようか。

私たちが大雪で四苦八苦していた2月24日、ロシアがウクライナを侵略しました。

ロシア軍の砲撃から逃れるため、国外避難者が三百万人、国内外では一千万人が避難しています。

ウクライナの子どもたちが、砲撃におびえることなく、安心して眠りにつける夜が1日も早く来ることを願ってやみません。

ウクライナの人もロシアの人も、世界中の人達がこぞって「戦争反対」「ウクライナに平和を」の声を上げましょう。(3月22日記)

弁護士による

無料法律相談

毎月第2水曜日(一人30分間)・要予約

*生活相談は随時うけつけます。

医療・年金・生活・国保・子育てなど、何でもご相談ください。ご連絡は吉岡ひろ子市政事務所まで。平日(10時~16時)

電話 011-807-8171

FAX 011-807-8172 (24時間受付可能)